

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		64	地域医療連携システム構築事業	部・課	市立病院事務局 市立病院医事課
総合計画との関係	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		
	施策目標等		8 安心して適切な医療が受けられるまち		
	取り組みの方向		8-② 地域のかかりつけ医から高度な医療を提供できる公的病院までが連携し、住み慣れた地域で必要な医療が受けられる地域医療の充実を図るなど、市民の医療ニーズに適切に対応できる医療体制を構築します。		
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係		3 誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる		
と総合戦略の関係	基本目標		3 市民の健康増進や地域医療の充実を図る		
	施策目標		3 安心して適切な医療が受けられるまち		
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明				
	2016(H28)年度市政運営方針				
	2017(H29)年度市政運営方針				
	2018(H30)年度市政運営方針				

事業概要 (目的・内容等)	市内の公的病院をはじめ、地域の病院・診療所の医療連携を強化するため、病院・診療所間の患者情報や診療情報の共有化に向けて、インターネット環境を利用した医療情報ネットワーク「地域医療連携システム」を構築する。
------------------	--

取り組み状況

これまでの取り組み状況		「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」で「地域完結型医療の実現のための連携事業」の一環として「地域医療連携システム」の構築についての、部会が発足。その後、「枚方地域医療連携ネットワーク協議会」を発足、平成28年3月に「ひらかた地域医療連携ネットワーク」の運用を開始しました。			
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・「地域医療連携システム」を運用し、市立ひらかた病院を含む病院・診療所の間で、患者情報や診療情報の共有化			
	実績（評価）	平成28年8月理事会時点で 情報開示施設 2施設 参照可能施設21施設 参照可能患者数 71人 平成29年3月理事会時点で 情報開示施設 4施設 参照可能施設31施設 参照可能患者数 202人 継続して、参照施設・参照可能患者数(同意患者)の拡大を目指す。			
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	「地域医療連携システム」を運用し、市立ひらかた病院を含む病院・診療所の間で、患者情報や診療情報の共有化する。 参照可能施設と参照可能患者数の拡大の為、開示できる情報を拡大する。			
	実績（評価）	平成30年3月理事会時点で 情報開示施設 4施設 参照可能施設44施設 参照可能患者数 458人 市立ひらかた病院での開示情報を拡大した。			
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	「地域医療連携システム」を運用し、市立ひらかた病院を含む病院・診療所の間で、患者情報や診療情報の共有化する。 参照可能施設と参照可能患者数の拡大の為、開示できる情報を拡大する。			
	実績（評価）	平成30年12月末時点で 情報開示施設 4施設 参照可能施設48施設 参照可能患者数 819人			

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	令和2年3月末時点で 情報開示施設 4施設 参照可能施設59施設 参照可能患者数は3262人
備考		

課題・今後の対応	医療機関により、それぞれ活用されているが、情報開示施設(病院)同士での情報連携の課題がある。導入から5年以上経過しておりシステムの更新にあっては、運用方法についても慎重に検討していく必要がある。		
達成状況（実行計画）	◎:事業完了・目標達成	達成状況（市長公約）	

関連指標

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
地域医療機関から市立病院への紹介件数		○		10,233	10,033	11,862	12,479	12,289	13,029	10,700	件	
指標の説明				システム導入前の平成27年度比 2000件以上増加しており、既に目標を達成している。							当初目標値	達成年度
地域医療機関から市立病院への患者の紹介件数												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0						
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(R1)年度	0						

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		65	救急医療体制・応急救護体制充実事業		部・課	健康福祉部 健康福祉総務課
総合計画との関係	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			
	施策目標等		8 安心して適切な医療が受けられるまち			
	取り組みの方向		8-③ 初期救急医療から高度救急医療を含む各医療機関の連携強化により救急医療体制を確保するとともに、応急救護体制の充実を図ります。			
	(関連施策目標等)					
	(関連施策目標等)					
	4つの重点的に進める施策との関係		3 誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる			
と総合戦略の関係	基本目標		3 市民の健康増進や地域医療の充実を図る			
	施策目標		3 安心して適切な医療が受けられるまち			
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞			
	所信表明					
	2016(H28)年度市政運営方針	○	新病院整備事業完了後には、初期救急医療体制の再構築など、市民の健康・福祉の向上につながるよう、現仮設駐車場の跡地活用を検討する。			
	2017(H29)年度市政運営方針					
	2018(H30)年度市政運営方針					
事業概要 (目的・内容等)			救急医療体制・応急救護体制を維持するため、初期救急(北河内夜間救急センター等)から、二次救急(市立ひらかた病院等)、高度救急(関西医科大学附属病院)までの円滑な連携体制の確保に向けた取り組みを行う。また、AEDを公共施設のほか、協力要請に応じた市内の24時間営業のコンビニエンスストアに設置するなど応急救護体制の充実を推進する。			

取り組み状況

これまでの取り組み状況		＜初期救急＞■休日土曜夜間診療の実施:枚方市医師会に委託。診療日時は、休日および年末年始午前10時～正午、午後1時～午後5時、土曜夜間:午後6時～午後9時 ■休日歯科急病診療への支援:運営主体である枚方市歯科医師会に事業補助を実施。診療日時は、日曜日・祝日および年末年始(12/29～1/3)午前10時～正午、午後1時30分～5時■北河内夜間救急センターの運営:北河内7市が共同で、協議会方式により実施。診療時間:年中無休、午後9時～翌午前6時(小児科) ＜二次救急＞■北河内二次救急医療協議会を通じての、二次救急医療機関に対する支援:国・府・北河内7市の共同で、北河内医療圏の二次救急医療を整備するため、38の対象医療機関に支援を実施。 ＜三次救急＞■関西医科大学附属病院の高度救命救急センターへの支援:枚方市単独で補助金交付のほか、寝屋川、交野、枚方の3市で構成する高度救命救急医療推進協議会を設置し、同病院に補助金を交付。公共施設のほか、平成27年4月から順次、市内の24時間営業のコンビニエンスストアにAEDを設置。			
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・休日土曜夜間急病診療の実施、北河内夜間救急センターの運営、休日歯科急病診療への支援 ・北河内二次救急医療協議会を通じた二次救急医療機関への支援 ・関西医科大学附属病院への支援 ・コンビニエンスストアの協力によるAEDの設置			
	実績(評価)	・休日土曜夜間急病診療(診療患者6,269人)の実施、北河内夜間救急センター(診療患者7,893人)の運営、休日歯科急病診療(診療患者803人)への支援を行った。 ・北河内二次救急医療協議会を通じた二次救急医療機関への支援を行った。 ・関西医科大学附属病院への支援を行った。 ・コンビニエンスストアの協力により、平成28年度は、未設置であった12店舗のコンビニエンスストアにAEDを設置することができた。平成29年3月末現在、枚方市内のコンビニエンスストア88箇所にAEDの設置となった。			
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進			
	実績(評価)	・休日土曜夜間急病診療(診療患者6,392人)の実施、北河内夜間救急センター(診療患者7,545人)の運営、休日歯科急病診療(診療患者796人)への支援を行った。 ・北河内二次救急医療協議会を通じた二次救急医療機関への支援を行った。 ・関西医科大学附属病院への支援を行った。 ・コンビニエンスストアの協力により、平成30年3月末現在、枚方市内のコンビニエンスストア84箇所にAEDを設置している。			
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進			
	実績(評価)	・休日土曜夜間急病診療(診療患者5,904人)の実施、北河内夜間救急センター(診療患者7,177人)の運営、休日歯科急病診療(診療患者789人)への支援を行った。 ・北河内二次救急医療協議会を通じた二次救急医療機関への支援を行った。 ・関西医科大学附属病院への支援を行った。 ・コンビニエンスストアの協力により、平成31年3月末現在、枚方市内のコンビニエンスストア84箇所にAEDを設置している。			

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	<ul style="list-style-type: none"> ・休日土曜夜間急病診療（診療患者5,731人）の実施、北河内夜間救急センター（診療患者6,792人）の運営、休日歯科急病診療（診療患者1,110人）への支援を行った。 ・北河内二次救急医療協議会を通じた二次救急医療機関への支援を行った。 ・関西医科大学附属病院への支援を行った。 ・コンビニエンスストアの協力により、令和2年3月末現在、枚方市内のコンビニエンスストア97箇所にAEDを設置している。設置個所のうち、チェーン展開している1社、4店舗と新たに協定を締結した。
備考		

課題・今後の対応	<p>初期救急（北河内夜間救急センター等）から、二次救急（市立ひらかた病院等）、三次救急（関西医科大学附属病院）まで充実した救急医療体制を維持する。</p> <p>AEDを公共施設のほか、協力要請に応じた市内の24時間営業のコンビニエンスストアに設置、及び維持管理など応急救護体制の充実を推進する。</p>		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
北河内夜間救急センターから二次医療機関に後送した患者の入院率		○		80.8	76.0	70.0	79.6	80.2	81.2	82.0	%	
指標の説明				北河内7市医師会及び関係大学の協力のもと、北河内夜間救急センターの適切な運営に努めた。							当初目標値	達成年度
入院に至った件数／夜間21～6時における北河内夜間救急センターから二次医療機関に後送された患者数												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	275,628	0	16,801	0	0	105,161	153,666
2017(H29)年度	238,572	0	16,801	0	0	101,895	119,876
2018(H30)年度	229,684	0	16,828	0	0	96,594	116,262
2019(R1)年度	226,163	0	16,924	0	0	91,131	118,108

単位:千円

整備事業の場合の総事業費	0千円	(建設経費	0千円	，用地費	0千円)
--------------	-----	-------	-----	------	------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		66	初期救急医療体制再構築事業	部・課	健康福祉部 健康福祉総務課
総合計画との関係	基本目標等	健やかに、生きがいを持って暮らせるまち			
	施策目標等	8 安心して適切な医療が受けられるまち			
	取り組みの方向	8-③ 初期救急医療から高度救急医療を含む各医療機関の連携強化により救急医療体制を確保するとともに、応急救護体制の充実を図ります。			
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係				
と総合戦略の関係	基本目標				
	施策目標				
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明				
	2016(H28)年度市政運営方針				
	2017(H29)年度市政運営方針				
	2018(H30)年度市政運営方針				

事業概要 (目的・内容等)	<p>市立ひらかた病院整備事業完了後の有効活用地について、初期救急医療や大規模災害時における医療救護活動の推進に資するため、枚方市医師会に有償譲渡する方針を平成28年度に定めた。これを受けて枚方市医師会は、当該用地に初期救急医療の拠点を整備し、本市が委託している枚方休日急病診療所も移設される予定としている。</p> <p>現在本市では、休日や夜間の急病に備え、北河内7市や医師会・歯科医師会・薬剤師会と連携して、枚方休日急病診療所、北河内夜間救急センター、休日歯科急病診療所で初期救急医療体制を整備しているが、保健センターの4階に開設している北河内夜間救急センターは、平成22年の寝屋川市からの移設時に現在の場所に設置され、感染症の疑いのある患者の隔離スペースの確保ができない他、年末年始や連休時には患者が殺到し待合スペースがパンクする等の様々な課題を抱えており、これらの課題解決を図ることを目的に移設に向けた協議を進めた結果、平成30年7月の北河内夜間救急センター協議会において承認を得た。また、休日歯科急病診療所においても、休日における医科・歯科連携の観点から、移設に向けて協議を進めており、枚方市歯科医師会との協議が整っている。</p> <p>本市の二次救急医療機関であり、大規模災害時には災害医療センターの役割を果たす市立ひらかた病院の隣接地に、これらの休日・夜間における初期救急医療機関を集約することにより、市民がより安心して初期救急医療を受けることができ、災害時にも円滑に連携して対応できる本市初期救急医療体制の再構築を図る。</p>				
------------------	--	--	--	--	--

取り組み状況

これまでの取り組み状況		平成30年度新規事業			
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標				
	実績（評価）				
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標				
	実績（評価）				
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	・移設の決定に向けて、北河内7市及び三師会等関係機関との協議を行う。			
	実績（評価）	・7月に開催した北河内夜間救急センター協議会において、北河内夜間救急センターの新医師会館への移設について承認を得た。 ・市立ひらかた病院有効活用地の譲渡手続きについて、庁内関係課及び医師会とそれぞれ協議を行うとともに、3月に市と市立ひらかた病院及び医師会の三者で確認書を取り交わした。			

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	・移設に係る枚方休日急病診療所、北河内夜間救急センター、休日歯科急病診療所の設計及び費用負担等に関する協議を行う。
	実績（評価）	・移設に係る枚方休日急病診療所、北河内夜間救急センター、休日歯科急病診療所の設計協議を終えた。 ・費用負担等に関する協議を継続して行った。
備考		

課題・今後の対応	・移設に係る枚方休日急病診療所、北河内夜間救急センター、休日歯科急病診療所の費用負担等に関する協議を引き続き行う。		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
初期救急医療体制再構築事業の進捗状況									—		
指標の説明										当初目標値	達成年度
【行程管理】初期救急医療体制再構築事業の進捗状況											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0						
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(R1)年度	0						

整備事業の場合の総事業費	0 千円	(建設経費		千円	， 用地費		千円)
--------------	------	-------	--	----	-------	--	------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		67	医療通訳士登録派遣事業	部・課	健康福祉部 健康福祉総務課
総合計画との関係	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		
	施策目標等		8 安心して適切な医療が受けられるまち		
	取り組みの方向		8-⑤ 外国人や聴覚障害者など誰もが安心して医療を受けることができる環境整備を進めます。		
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係		3 誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる		
と総合戦略の関係	基本目標		3 市民の健康増進や地域医療の充実を図る		
	施策目標		3 安心して適切な医療が受けられるまち		
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明				
	2016(H28)年度市政運営方針		○	健康医療都市ひらかたコンソーシアム連携事業として、医療通訳士登録派遣事業などを引き続き推進する。	
	2017(H29)年度市政運営方針				
	2018(H30)年度市政運営方針				

事業概要 (目的・内容等)	外国人が、安心して市内の医療機関を利用できるよう、医療通訳士の養成と、医療機関への派遣を行う。
------------------	---

取り組み状況

これまでの取り組み状況	・平成25年度に実施した第1回医療通訳士養成講座の修了者14人(登録者)に対して、平成26年11月～平成27年2月にフォローアップ研修を4回実施し、医療通訳士として到達度の確認を行った。到達度を確認できた登録者6人を対象に、平成27年2月～3月に病院実習を14回実施し、医療機関への派遣に向けて人材の育成を行った。 ・平成27年6月から対象医療機関の依頼に基づき、枚方市医療通訳士を派遣した。 ・枚方市医療通訳士のスキルアップ研修を実施した。 ・医療通訳士の増員及び対象言語の拡大を図るため、第2回医療通訳士養成講座(対象言語:中国語、英語、韓国・朝鮮語の3カ国語)を平成28年1月から開講し、同講座修了後の登録テストで合格した8人(中国語3人、英語4人、韓国・朝鮮語1人)を平成28年4月に枚方市医療通訳士として登録した。 ・平成30年度は、通訳士休職のため韓国・朝鮮語の派遣を休止した。	
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・医療通訳士の医療機関への派遣 ・医療通訳士に対するスキルアップ研修の実施
	実績(評価)	・平成28年6月から対象言語に韓国・朝鮮語を加えた。 ・医療通訳士の医療機関への派遣を280件(中国語245件、英語35件)実施した。 ・医療通訳士に対するスキルアップ研修(現任研修)を実施した。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績(評価)	・医療通訳士の医療機関への派遣を313件(中国語261件、英語52件)実施した。 ・医療通訳士の増員及び対象言語の拡大を図るため、第3回医療通訳士養成講座(対象言語:中国語、英語の2カ国語)を平成29年9月から開講し、同講座修了後の登録テストで合格した4人(中国語3人、英語1人)を平成29年11月に枚方市医療通訳士として登録した。 ・医療通訳士養成講座の一部をスキルアップ研修(現任研修)として位置づけ、現任の医療通訳士を含めた研修を実施した。
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績(評価)	・医療通訳士の医療機関への派遣を538件(中国語459件、英語79件)実施した。 ・医療通訳士に対するスキルアップ研修(現任研修)を実施した。 ・平成30年度は、通訳士休職のため韓国・朝鮮語の派遣を休止した。

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進 ・医療通訳士の増員及び対象言語の拡大を図るため、第4回医療通訳士養成講座を開催予定
	実績（評価）	・医療通訳士の医療機関への派遣を554件（中国語486件、英語56件、スペイン語11件、韓国・朝鮮語1件）実施した。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年2月から派遣を休止した。 ・医療通訳士の増員及び対象言語の拡大を図るため、第4回医療通訳士養成講座（対象言語：中国語、英語、スペイン語）を令和元年9月から開講し、同講座修了後の登録テストで合格した2人（中国語1人、英語1人）を令和元年11月に枚方市医療通訳士として登録した。 ・医療通訳士に対するスキルアップ研修（現任研修）を実施した。
備考		

課題・今後の対応	・医療通訳士の利用件数が想定以上に伸びている。これ以上利用件数が増えると、病院へ医療通訳士を派遣する際の調整が困難となる。派遣調整の負担軽減及び事業の効率化を図るため、医療通訳士の個別派遣（現行）と、特に派遣件数が多い病院（1病院）の院内常駐（新規）との併用を令和2年1月から試行実施した。引き続き4月から本格実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、医療通訳士の派遣を令和2年2月から休止したため、本格実施ができていない状況である。現行の個別派遣も含めて今後の再開時期を見極めるとともに、再開時には感染防止対策を講じたうえで派遣を行う必要がある。 ・昨年度実施した第4回医療通訳士養成講座について、同講座修了後の病院実習が新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施できていないことから、今後、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら病院実習を行う。 ・医療通訳士の増員及び対象言語の拡大に引き続き努めていく。	
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）○：達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
医療通訳士の利用件数	○		－	131	280	313	538	554	300	件	
指標の説明			目標値を大幅に超過しているが、令和2年2月に新型コロナウイルス感染拡大の影響により派遣を休止した分が含まれていないため、通常であればさらに件数が増加していたことになる。							当初目標値	達成年度
外国人住民等が市内対象医療機関を受診する際の医療通訳士の利用件数											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
医療機関への手話通訳の派遣件数	○		1,007	967	984	877	985	1,010	1,500	件	
指標の説明			サービス利用者個人の都合により利用件数が増加し、前年度と比較し25件の増となった。							当初目標値	達成年度
聴覚障害者が医療機関を利用する際の手話通訳の派遣件数											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位: 千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	3,415	0	0	0	0	0	3,415
2017(H29)年度	4,451	0	0	0	0	0	4,451
2018(H30)年度	4,563	0	0	0	0	0	4,563
2019(R1)年度	5,786	0	0	0	0	0	5,786

整備事業の場合の総事業費	0 千円	(建設経費	0 千円	，用地費	0 千円)
--------------	------	-------	------	------	--------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		68	保健・医療・介護・福祉等連携強化事業		部・課	健康福祉部	地域健康福祉室 (健康福祉総合相談担当、健康増進・介護予防担当)
総合計画との関係	基本目標等		健やかに、生きがいを持って暮らせるまち				
	施策目標等		8 安心して適切な医療が受けられるまち				
	取り組みの方向		8-⑥ 高齢者などが住み慣れた地域で、医療・介護が一体的に受けられる体制づくりを進めます。				
	(関連施策目標等)		9 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち				
	(関連施策目標等)						
	4つの重点的に進める施策との関係		3 誰もがいつまでも健康に暮らせるまちをつくる				
総合関係略	基本目標		3 市民の健康増進や地域医療の充実を図る				
	施策目標		3 安心して適切な医療が受けられるまち				
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞				
	所信表明		○	高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らせるよう福祉や医療、介護、予防等を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進める。			
	2016(H28)年度市政運営方針		○	高齢者の個々の課題解決に向けたケアマネジメントの質の向上を図るため、医療や介護の専門職などの職員による自立支援型地域ケア会議を市内4ブロックに分けて開催し、平成29年度には福祉行政拠点を設置している13圏域ごとの開催をめざす。			
	2017(H29)年度市政運営方針		○	医療・介護の専門職が連携する自立支援型地域ケア会議を13の日常生活圏域ごとに開催し、リハビリテーション専門職などを活用した市独自の生活支援サービスを実施する。			
	2018(H30)年度市政運営方針						
事業概要 (目的・内容等)			住み慣れた地域で高齢者が継続して在宅生活を送ることができる環境の整備を図るため、市全域での取り組みと、地域での高齢者サポートセンター(地域包括支援センター)を中心とした取り組みの有機的連携により、保健・医療・介護・福祉・地域住民等の円滑な相互連携の強化を推進する。 【拡充(平成28年度当初)】 これまで市全体で実施している自立支援型地域ケア会議(ケアマネジメントの質の向上を目的とした多職種による検討会議)を13圏域ごとに開催するよう拡充する。				

取り組み状況

これまでの取り組み状況		包括的支援事業において市全域で取り組みを推進する各種事業(権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント事業、介護予防事業等)の取り組みを推進するため、高齢者サポートセンター専門職部会で毎年実施計画を策定し、計画に沿った取り組みを行っている。また、医療と介護の連携体制構築のため課題を抽出し、課題解決に向けた検討を行うため医師会・歯科医師会・薬剤師会・各種介護サービス事業所連絡会を構成団体とする地域ケア推進実務者連絡協議会を開催している。平成27年度からは自立支援に資するケアマネジメントを目的とした地域ケア会議である自立支援型地域ケア会議を開催している。	
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・保健・医療・介護・福祉・地域住民等の連携強化に向けた取り組みの推進 【拡充(平成28年度当初)】 ・自立支援型地域ケア会議を市内3～4ブロックごとに開催	
	実績(評価)	・高齢者サポートセンター(地域包括支援センター)の専門職部会の開催件数:計48回(全体会議:12回、主任ケアマネ部会:12回、社会福祉士部会:12回、保健師部会:12回) ・地域ケア推進実務者連絡協議会の開催件数:計15回(地域ケア実務者連絡協議会:2回、作業部会 認知症初期集中支援チーム検討部会:1回、多職種連携会議作業部会:12回) ・自立支援型地域ケア会議の開催件数:33回	
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進 ・保健・医療・介護・福祉・地域住民等の連携強化に向けた取り組みの推進 【拡充(平成28年度当初)】 ・自立支援型地域ケア会議を市内13圏域ごとに開催	
	実績(評価)	・高齢者サポートセンター(地域包括支援センター)の専門職部会の開催件数:計48回(全体会議:12回、主任ケアマネ部会:12回、社会福祉士部会:12回、保健師部会:12回) ・地域ケア推進実務者連絡協議会の開催件数:計14回(地域ケア実務者連絡協議会:1回、作業部会 認知症初期集中支援チーム検討部会:1回、多職種連携会議作業部会:12回) ・自立支援型地域ケア会議の開催件数:52回	

2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進 ・保健・医療・介護・福祉・地域住民等の連携強化に向けた取り組みの推進 【拡充(平成28年度当初)】 ・自立支援型地域ケア会議を市内13圏域ごとに開催 ・「枚方市在宅医療・介護連携相談窓口」の設置 ・介護保険法改正による重点事業を展開するため、圏域ごとの連携事業を地域包括支援センターに委託
	実績(評価)	・高齢者サポートセンター(地域包括支援センター)の専門職部会の開催件数:計48回(全体会議:12回、主任ケアマネ部会:12回、社会福祉士部会:12回、保健師部会:12回) ・地域ケア推進実務者連絡協議会の開催件数:計15回(地域ケア実務者連絡協議会:1回、作業部会 認知症初期集中支援チーム検討部会:1回、多職種連携会議作業部会:13回) ・自立支援型地域ケア会議の開催件数:81回 ・「枚方市在宅医療・介護連携相談窓口」の設置 ・介護保険法改正による重点事業を展開するため、圏域ごとの連携事業を地域包括支援センターに委託
2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績(評価)	・地域包括支援センターの専門部会の開催数:計45回(全体会議:12回、主任ケアマネ部会:11回、社会福祉部会:11回、保健師部会:11回) ・地域ケア推進実務者連絡協議会等の開催件数:計12回【地域ケア推進実務者連絡協議会:0回(新型コロナウイルス感染拡大予防に伴い中止)、作業部会 認知症初期集中支援チーム検討部会:1回、多職種連携会議作業部会:11回】 ・自立支援型地域ケア会議の開催回数:71回
備考		

課題・今後の対応	<p>医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が住み慣れた地域で、自ら望む暮らしを続けることができるよう、地域における医療機関と介護サービス事業者等関係者の連携強化が必要である。</p> <p>令和元年度は、平成30年度に引き続き在宅医療と介護連携に関する支援業務を枚方市医師会に委託し、地域の医療・福祉・介護関係者向けの研修を開催するとともに、相談窓口開設日時を拡大した。また、市内居宅介護支援事業所・訪問介護事業所・訪問看護ステーション事業所にアンケート調査を実施し、在宅医療と介護連携に関するニーズ把握と課題抽出を行った。今後は、調査結果に基づき、相談窓口チラシの作成・関係機関への配布、関係機関連絡会議等での周知を行い、利用促進を図っていく。</p> <p>さらに、令和2年度は、初期認知症の認知症専門外来等への早期受診を促進するため、医師会と連携して認知症に関する市民向けDVD・動画を作成し普及啓発を図っていく。また、市民向けの普及啓発の媒体として、エンディングノートや終活に関するリーフレットを作成し、引き続き人生の最期を自分らしく過ごせる環境づくりに向けて取り組んでいく。</p>		
達成状況(実行計画)	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況(市長公約)	○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
専門職部会の開催件数			48	48	48	48	48	45	48	回	
指標の説明			全体会議:12回、主任ケアマネ部会:11回※、社会福祉士部会:11回※、保健師部会:11回※ 計45回							当初目標値	達成年度
高齢者サポートセンター（地域包括支援センター）の専門職部会の開催件数			※新型コロナウイルス感染拡大予防のため各1回開催中止								
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
地域ケア推進実務者連絡協議会の開催件数			1	11	15	14	15	12	11	回	
指標の説明			①地域ケア実務者連絡協議会:0回（新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止）							当初目標値	達成年度
地域ケア推進実務者連絡協議会、作業部会の開催件数			②作業部会 認知症初期集中支援チーム検討部会:1回、多職種連携会議作業部会:11回								
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
自立支援型地域ケア会議の開催数			-	12	33	52	81	71	52	回	
指標の説明										当初目標値	達成年度
自立支援型地域ケア会議の開催件数			令和元年度 自立支援型地域ケア会議:71回								
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	309	121	60	0	0	68	60
2017(H29)年度	4,534	1,768	884	0	0	997	885
2018(H30)年度	953	367	183	0	0	219	184
2019(R1)年度	1,101	424	212	0	0	253	212

整備事業の場合の総事業費	0 千円	(建設経費	0 千円	，用地費	0 千円)
--------------	------	-------	------	------	------	---